

木下 龍太郎 作 詩  
白石 十四男 作・編曲

# 川口小唄

大 月 みやこ

△振付▽三 喜 八千代

キングオーケストラ

昔ながらの 川口氣質

二つ伝える ものがある

意気の良さなら 初午太鼓

品の良さなら

品の良さなら 鉄砲百合

こうと決めたら キューポラ娘

いのちひとすじ 叶うまで

胸の炎で 鋳物をつくり

好きな貴方に

届きたい

未来誓った あの日のふたり

シャトウ赤紫 愛の城

グリーンセンター 聴いの広場

今日は子供の

今日は子供の 供でゆく

どこへ行こうと その地に馴れて

花よ咲け咲け 枝を張れ

嫁にやるよに 苗木に掛ける

安行 神根の

安行 神根の 親ごころ

明日の子等には スポーツセンター

強く育ての ところから

お年寄りには ご苦労さんと

贈る感謝の

贈る感謝の たたら荘

歴史浮べて 流れる月日

みんな変った 人の世も

変らないのは あの荒川の

武州名残りの

武州名残りの 月ばかり